

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成25年2月14日 (2013.2.14)

【公開番号】特開2010-264083(P2010-264083A)  
 【公開日】平成22年11月25日 (2010.11.25)  
 【年通号数】公開・登録公報2010-047  
 【出願番号】特願2009-118254(P2009-118254)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 2 E

A 6 3 F 5/04 5 1 3 D

【手続補正書】  
 【提出日】平成24年12月19日 (2012.12.19)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

表面に複数の図柄が表示された複数の回転リールと、  
操作手段の操作に基づいて前記回転リールの回転及び停止を制御する遊技制御装置と、  
演出を行う演出装置と、  
演出データに基づいて前記演出装置の作動を制御する演出制御装置とを少なくとも備え  
た遊技機において、  
前記回転リールの回転速度に対応付けられた、実行テンポがそれぞれ異なる複数の演出  
データを設け、  
前記演出制御装置は、前記回転リールの回転速度に基づいて、前記回転リールの回転速  
度が速くなるほど、前記演出装置により実行される演出の実行テンポが速くなるように、  
前記演出装置を作動させることができるように形成されていることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

表面に複数の図柄が表示された複数の回転リールと、  
操作手段の操作に基づいて前記回転リールの回転及び停止を制御する遊技制御装置と、  
音声を出力するスピーカと、  
音声データに基づいて前記スピーカの作動を制御する演出制御装置とを少なくとも備え  
た遊技機において、  
前記回転リールの回転速度に対応付けられた、音程がそれぞれ異なる複数の音声データ  
を設け、  
前記演出制御装置は、前記回転リールの回転速度に基づいて、前記回転リールの回転速  
度が速くなるほど、前記スピーカから出力される音声の音程が高くなるように、前記スピー  
カから出力させる音声を制御することができるように形成されていることを特徴とする  
遊技機。

【請求項 3】

表面に複数の図柄が表示された複数の回転リールと、  
操作手段の操作に基づいて前記回転リールの回転及び停止を制御する遊技制御装置と、  
音声を出力するスピーカと、

音声データに基づいて前記スピーカの作動を制御する演出制御装置とを少なくとも備えた遊技機において、

前記回転リールの回転速度に対応付けられた、音量がそれぞれ異なる複数の音声データを設け、

前記演出制御装置は、前記回転リールの回転速度に基づいて、前記回転リールの回転速度が速くなるほど、前記スピーカから出力される音声の音量が大きくなるように、前記スピーカから出力させる音声を制御することができるよう形成されていることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかし、従来の遊技機には、回転リールの回転速度に応じてスピーカから音声を出力させるというものは無かった。そこで、本願発明は、回転している回転リールの回転速度に応じて演出を変更することで、今までにない斬新な報知態様や、臨場感のある演出態様を提供し、遊技性を高めることを目的とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記した目的を達成するためになされたものであり、本発明の特徴点を図面に示した発明の実施の形態を用いて、以下に説明する。

なお、括弧内の符号は、発明の実施の形態において用いた符号を示し、本発明の技術的範囲を限定するものではない。

(特徴点)

(請求項 1)

請求項 1 記載の発明は、次の点を特徴とする。

すなわち、請求項 1 記載の発明は、表面に複数の図柄が表示された複数の回転リール(40)と、操作手段(スタートスイッチ30、ストップスイッチ50)の操作に基づいて前記回転リール(40)の回転及び停止を制御する遊技制御装置(21)と、演出を行う演出装置(液晶表示装置67、ランプ68、スピーカ69)と、演出データに基づいて前記演出装置の作動を制御する演出制御装置(22)とを少なくとも備えた遊技機において、前記回転リール(40)の回転速度に対応付けられた、実行テンポがそれぞれ異なる複数の演出データを設け、前記演出制御装置(22)は、前記回転リール(40)の回転速度に基づいて、前記回転リール(40)の回転速度が速くなるほど、前記演出装置により実行される演出の実行テンポが速くなるように、前記演出装置を作動させることができるように形成されていることを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 0 7 】

## ( 請求項 2 )

請求項 2 記載の発明は、表面に複数の図柄が表示された複数の回転リール(40)と、操作手段の操作に基づいて前記回転リール(40)の回転及び停止を制御する遊技制御装置(21)と、音声を出力するスピーカ(69)と、音声データに基づいて前記スピーカ(69)の作動を制御する演出制御装置(22)とを少なくとも備えた遊技機において、前記回転リール(40)の回転速度に対応付けられた、音程がそれぞれ異なる複数の音声データを設け、前記演出制御装置(21)は、前記回転リール(40)の回転速度に基づいて、前記回転リール(40)の回転速度が速くなるほど、前記スピーカ(69)から出力される音声の音程が高くなるように、前記スピーカ(69)から出力させる音声を制御することができるよう形成されていることを特徴とする。

## 【 手続補正 6 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 0 8 】

## ( 請求項 3 )

請求項 3 記載の発明は、表面に複数の図柄が表示された複数の回転リール(40)と、操作手段の操作に基づいて前記回転リール(40)の回転及び停止を制御する遊技制御装置(21)と、音声を出力するスピーカ(69)と、音声データに基づいて前記スピーカ(69)の作動を制御する演出制御装置(22)とを少なくとも備えた遊技機において、前記回転リール(40)の回転速度に対応付けられた、音量がそれぞれ異なる複数の音声データを設け、前記演出制御装置(22)は、前記回転リール(40)の回転速度に基づいて、前記回転リール(40)の回転速度が速くなるほど、前記スピーカ(69)から出力される音声の音量が大きくなるように、前記スピーカ(69)から出力させる音声を制御することができるよう形成されていることを特徴とする。

## 【 手続補正 7 】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】削除

【補正の内容】